



いたやなぎ 町議会だより

令和5年
9月定例会

第39号
2023.11.10



主な内容

- 7人が一般質問 P 2～8
- 常任委員会審査 P 9
- 決算特別委員会 P 10～P 11
- 一目で分かる審議結果 他 P 12～P 13
- 視察研修 他 裏表紙

福士豊勝流民謡三絃は主に歌と三味線の活動をしています。同会には板柳町のほか津軽地域の方が多く在籍しており、年間通して県内の様々なステージに出演しているそうです。

メンバーの渡部司さんは「弾ける曲を増やしたい!」「楽しく弾く!」「福士師匠に追いつけ!追い越せ!」と力強く語ってくれました。

板柳町の夢追人!

～津軽三味線と津軽民謡の伝統を後世に残すぞ!～

渡部 司さん (東雲町) ほか 福士豊勝流の皆さん

町民の声を町政に

第15回定例会一般質問

第15回板柳町議会定例会が9月1日から8日までの日程で開催されました。9月4日に行われた「一般質問」に、7名の議員が登壇し質問しました。

一般質問は、議員の日常活動と町民の声や議員自身の考え方をもとに町長や教育長などの方針を問うものです。

板柳町議会では、1人60分の制限時間があります。議会だよりは、スペースの都合上、1人1ページ相当の文章量までとし、質問と答弁が要約してあります。臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。

指名競争入札の問題点について



工藤 貢

問 昨年8月の大雨で被害の復旧作業など地元業者は地域に貢献している。それにもかかわらず町外の業者や地元でも特定業者だけを指名し、公平性に欠けると思うが。

答 (葛西町長) 地域に貢献することと入札に係る談合疑惑を解消することは、考えを別にする必要があると思う。私の考えの中で、町として現時点で指名・契約するにふさわしく、加えて競争が必要だと思う入札に関しては範囲を広げ、毎回変化を加えながら指名している。

問 町外業者を指名することについて、私は理解できない。詳しく説明いただきたい。

統合小学校の新設と町長の発言について

答 (葛西町長) 前町長は、板柳の業者を毎回6社指名していたが、私は良いとは思わない。そういうことから町外も入れ、競争させることが根底にある。

問 「数億円程度で既存施設を改修」という発言の根拠を伺う。

答 (葛西町長) 管内4小学校において既存施設を活用した小学校統合に関する住民説明会を行った。既存施設の活用でも、施設整備や教育環境の整備等は、可能な限り子ども達が快適に学べる環境づくりを目指してきたいと説明させていただいた。

エアコン設置や洋式トイレの増設など、快適に安心して学びたいと思える学校づくりを進めていきたい。また、給食施設、放課後児童クラブの整備、駐車スペースを確保するなど、ある程度の予算は必要になる。

問 選挙中の「旧板柳高校の活用も選択肢に含める」との発言が、6月定例会では選択肢から外す発言に変わった。町長の軽々で不意な発言に町長の資質に不安を覚えるが。

答 (葛西町長) 町長に就任してから高等学校と小学校校舎のつくりが違い過ぎることを知り、統合小学校には適さないと思い、答弁した。

問 31億5,500万円の基金が確保されている。町長は財政的なことを問題にするが、統合小学校の新設には十分な基金である。

答 (葛西町長) 活用できるものは活用すべきであるし、それにより無駄にかかる費用を抑えることができるのであれば、他の事業に向けることができるのではないかと考えているのである。

問 多くの町民や保護者を対象にしたアンケート調査が必要と思うが。

答 (葛西町長) 小学校統合を進めていく中で、いろいろなことが決まり次第、町民の皆さん

にその都度ご報告していきたい。アンケート調査などの実施は考えていない。

公約に掲げる「商工観光課」新設の疑問について

問 費用対効果の観点から既存体制の中で効果を出せるように業務の見直しや改善・工夫を考えたい方が多いと思う。観光についてはふるさとセンターが観光機能を有しているので体制の見直しや施設の整備充実を図ることで観光振興の役割を十分果たせると考えるが。

答 (葛西町長) 人口減少や事業所の減少に手をこまねいているだけでは何も変わらない。商工観光課の新設は実現に向けて取り組んでいく。ふるさとセンターを観光拠点施設とするためでもあり、事務室の場所はふるさとセンターを想定している。業務や体制の見直しを進めながら商工観光の振興を図っていききたい。



鈴木清孝

津軽横断道路について

問 青森空港から板柳町を経由して岩木山麓を直結する、津軽横断道路の整備状況と完成見込みを伺う。

答 (葛西町長) これまで津軽りんご大橋から五畿形までの区間及び常海橋から福館までの区間の約8.6キロメートルが開通し、供用開始されている。整備率は52.4%である。現在、未整備区間の常海橋銀線の福館から女鹿沢工区及び県道五所川原岩木線、町道高増常海橋線の高増工区の約7.9キロメートルの用地補償、道路改良工事等が順次進められている。

問 当町の区間の部分だけでも町の広報紙やホームページでお知らせするべきではないかと思うが。

答 (葛西地域整備課長) 早期完成を待つ地域住民の声も寄せられている。町ホームページや広報紙などの周知方法を県と協議して検討していく。

津軽自動車道について

問 東北自動車道に接続される津軽自動車道の整備状況を伺う。

答 (葛西町長) これまで国道7号からつがる柏インターチェンジまでの約20キロメートル、また鱒ヶ沢道路の3.7キロメートルが供用開始され、約6割の整備率となっている。

問 町民のスポーツ振興を目的に、各種目競技が老若男女集いながら活用できる施設に活用出来るのではないかと考えるが見解を伺う。

答 (葛西町長) 町のスポーツ振興を考える上で有効活用できるものと考えている。2つの体育館やグラウンド、格技道場を含めて十二分に活用可能であると確信している。

問 町民のスポーツ振興を目的に、各種目競技が老若男女集いながら活用できる施設に活用出来るのではないかと考えるが見解を伺う。

答 (葛西町長) 町民のスポーツ振興を考える上で有効活用できるものと考えている。2つの体育館やグラウンド、格技道場を含めて十二分に活用可能であると確信している。

問 町民のスポーツ振興を目的に、各種目競技が老若男女集いながら活用できる施設に活用出来るのではないかと考えるが見解を伺う。

答 (葛西町長) 町民のスポーツ振興を考える上で有効活用できるものと考えている。2つの体育館やグラウンド、格技道場を含めて十二分に活用可能であると確信している。

旧青森県立板柳高校の活用について

問 町民のスポーツ振興を目的に、各種目競技が老若男女集いながら活用できる施設に活用出来るのではないかと考えるが見解を伺う。

答 (葛西町長) 町民のスポーツ振興を考える上で有効活用できるものと考えている。2つの体育館やグラウンド、格技道場を含めて十二分に活用可能であると確信している。

問 町民のスポーツ振興を目的に、各種目競技が老若男女集いながら活用できる施設に活用出来るのではないかと考えるが見解を伺う。

答 (葛西町長) 町民のスポーツ振興を考える上で有効活用できるものと考えている。2つの体育館やグラウンド、格技道場を含めて十二分に活用可能であると確信している。

問 町民のスポーツ振興を目的に、各種目競技が老若男女集いながら活用できる施設に活用出来るのではないかと考えるが見解を伺う。

答 (葛西町長) 町民のスポーツ振興を考える上で有効活用できるものと考えている。2つの体育館やグラウンド、格技道場を含めて十二分に活用可能であると確信している。

問 町民のスポーツ振興を目的に、各種目競技が老若男女集いながら活用できる施設に活用出来るのではないかと考えるが見解を伺う。

答 (葛西町長) 町民のスポーツ振興を考える上で有効活用できるものと考えている。2つの体育館やグラウンド、格技道場を含めて十二分に活用可能であると確信している。

問 町民のスポーツ振興を目的に、各種目競技が老若男女集いながら活用できる施設に活用出来るのではないかと考えるが見解を伺う。

答 (葛西町長) 町民のスポーツ振興を考える上で有効活用できるものと考えている。2つの体育館やグラウンド、格技道場を含めて十二分に活用可能であると確信している。

問 町民のスポーツ振興を目的に、各種目競技が老若男女集いながら活用できる施設に活用出来るのではないかと考えるが見解を伺う。

答 (葛西町長) 町民のスポーツ振興を考える上で有効活用できるものと考えている。2つの体育館やグラウンド、格技道場を含めて十二分に活用可能であると確信している。

問 町民のスポーツ振興を目的に、各種目競技が老若男女集いながら活用できる施設に活用出来るのではないかと考えるが見解を伺う。

答 (葛西町長) 町民のスポーツ振興を考える上で有効活用できるものと考えている。2つの体育館やグラウンド、格技道場を含めて十二分に活用可能であると確信している。

問 町民のスポーツ振興を目的に、各種目競技が老若男女集いながら活用できる施設に活用出来るのではないかと考えるが見解を伺う。

答 (葛西町長) 町民のスポーツ振興を考える上で有効活用できるものと考えている。2つの体育館やグラウンド、格技道場を含めて十二分に活用可能であると確信している。

問 町民のスポーツ振興を目的に、各種目競技が老若男女集いながら活用できる施設に活用出来るのではないかと考えるが見解を伺う。

答 (葛西町長) 町民のスポーツ振興を考える上で有効活用できるものと考えている。2つの体育館やグラウンド、格技道場を含めて十二分に活用可能であると確信している。

問 町民のスポーツ振興を目的に、各種目競技が老若男女集いながら活用できる施設に活用出来るのではないかと考えるが見解を伺う。

答 (葛西町長) 町民のスポーツ振興を考える上で有効活用できるものと考えている。2つの体育館やグラウンド、格技道場を含めて十二分に活用可能であると確信している。

問 町民のスポーツ振興を目的に、各種目競技が老若男女集いながら活用できる施設に活用出来るのではないかと考えるが見解を伺う。

答 (葛西町長) 町民のスポーツ振興を考える上で有効活用できるものと考えている。2つの体育館やグラウンド、格技道場を含めて十二分に活用可能であると確信している。

問 町民のスポーツ振興を目的に、各種目競技が老若男女集いながら活用できる施設に活用出来るのではないかと考えるが見解を伺う。

答 (葛西町長) 町民のスポーツ振興を考える上で有効活用できるものと考えている。2つの体育館やグラウンド、格技道場を含めて十二分に活用可能であると確信している。

問 町民のスポーツ振興を目的に、各種目競技が老若男女集いながら活用できる施設に活用出来るのではないかと考えるが見解を伺う。

答 (葛西町長) 町民のスポーツ振興を考える上で有効活用できるものと考えている。2つの体育館やグラウンド、格技道場を含めて十二分に活用可能であると確信している。

問 町民のスポーツ振興を目的に、各種目競技が老若男女集いながら活用できる施設に活用出来るのではないかと考えるが見解を伺う。

答 (葛西町長) 町民のスポーツ振興を考える上で有効活用できるものと考えている。2つの体育館やグラウンド、格技道場を含めて十二分に活用可能であると確信している。

問 町民のスポーツ振興を目的に、各種目競技が老若男女集いながら活用できる施設に活用出来るのではないかと考えるが見解を伺う。

答 (葛西町長) 町民のスポーツ振興を考える上で有効活用できるものと考えている。2つの体育館やグラウンド、格技道場を含めて十二分に活用可能であると確信している。

問 町民のスポーツ振興を目的に、各種目競技が老若男女集いながら活用できる施設に活用出来るのではないかと考えるが見解を伺う。

答 (葛西町長) 町民のスポーツ振興を考える上で有効活用できるものと考えている。2つの体育館やグラウンド、格技道場を含めて十二分に活用可能であると確信している。

問 町民のスポーツ振興を目的に、各種目競技が老若男女集いながら活用できる施設に活用出来るのではないかと考えるが見解を伺う。

答 (葛西町長) 町民のスポーツ振興を考える上で有効活用できるものと考えている。2つの体育館やグラウンド、格技道場を含めて十二分に活用可能であると確信している。

問 町民のスポーツ振興を目的に、各種目競技が老若男女集いながら活用できる施設に活用出来るのではないかと考えるが見解を伺う。

答 (葛西町長) 町民のスポーツ振興を考える上で有効活用できるものと考えている。2つの体育館やグラウンド、格技道場を含めて十二分に活用可能であると確信している。

ふるさと納税について

問 2022年度のふるさと納税制度による寄付額が公表され、県と県内40市町村の合計額が過去最高を更新した中で、当町の金額と件数が減少した要因について伺う。

答 (葛西町長) 当町においては対前年比17.6%減の1億4,484万円という結果となった。要因は全国的にりんごの生産量が増え価格が安くなり、返礼品よりも安く手に入ることや当町は返礼品の約97%がりんごの生果であり、それ以外の返礼品の寄附を集めることができなかったことが挙げられる。

町職員の平均年収について

問 2022年の地方公務員給与実態調査における、全国743町の中で当町の順位について伺う。

答 (長内副町長) ご指摘について重く受け止めたい。働きがいや達成感も感じられるような職場づくりは大事なことだと思っている。職員のモチベーションの向上につながるような処遇の改善・労働環境の改善を意識してこれから努めてまいりたい。



葛西 幸男

指名競争入札に係る 町長の発言について

問 7月4日の舗装工事は町外の5業者だけで行っているが、なぜ町内業者を排除したのか。また、こうしたやり方は町のため、町民のためになっていると思うのか。

答 (葛西町長)

指名できる業者はA、B、Cと等級をつけて管理されている。舗装工事について、設計金額が1,000万円を超える工事は、A級の等級がついた業者の中から指名することになる。すると町内業者だけでは入札執行できない状況であるので、私の判断で適正な入札・競争が行われると思われる業者を複数指名し、入札を行っている。契約した業者について、問題なくしつかりした工事をしていただけるも

のと思うので、町民のためになっていると判断する。

問 町長が行っている入札行為は町を暗くしていると思うが、これまでで何が違ったのか。

答 (葛西町長)

これまでが町を暗くしていたのであり、現在は明るい元気な町に向かうよう進めているというのが私の認識である。指名は町長の専権事項であり、私の考えの中で町として現時点で何も疑いなく指名・契約するのにふさわしく、加えて競争をしつかり行うために必要だと思う入札に関しては範囲を広げ、さらに毎回同じではなく、変化を加えながら指名している。この部分がかれまでと違う。

統合小学校に係る理事者の 軽率で無責任な発言について

問

「町試算の40億円では済まない、倍近くになる」との試算がある。という町長の発言に対し根拠を質問したところ、「40億円では新築できないことを指摘したつもり」と全く答弁にならず、あまりにも無責

任な発言にあきれている。さらに他の議員の質問には「選挙戦で熱くなつて燃えて80億という金額を述べた。」と答弁が変わり、町長の発言としては軽くて心配である。自分の発言をどのよう

答 (葛西町長)

私は町長選挙中において、東日本大震災以降の建設資材や人件費の高騰は著しく右肩上がりの中、世界的な物価高騰の状況も加わり、統合小学校の新設には膨大な予算が必要となるのではないかと認識から演説したものである。板柳中学校も当初は13億で建設されると示されたが、実際には約25億8,000万円となった。統合小学校の新設については40億円では済まされない、もっと予算がかかるのではないかという意見を述べたものである。選挙中の発言については一町民としての思いも含めて発言したこととご理解いただきたい。

小学校統合に関する住民 説明会について

問 保護者のみなさんの意見や質問は。

答 (高橋教育長)

保護者の方から既存施設を利活用することは賛成だとした上で、その場合にはいつ頃の開校を目指すのかという質問が大変多く、少しでも早く統合して開校してほしいという強い思いが感じられた。そのほか、「児童や保護者の負担が多くならないように進めてほしい。」「校舎の改修工事等は児童の安全を第一に考えて実施してほしい。」「スクールバスは保護者等の要望に十分配慮して運行してほしい。」などの意見があった。

問 新築した場合の保護者の反応は。

答 (高橋教育長)

板柳中学校の校地内に統合小学校を新築してほしいとの意見もあった。町長は「町民のサービスの充実や町の老朽化した施設への対応、旧板柳高校の利活用などのためにもある程度十分な予算を割く必要があるため既存施設を利活用する考えは変えられない。どうかご理解いただきたい」と説明をした。

議会を傍聴しませんか 次の定例会は12月です

<議会日程のお知らせ(予定)>

日	時	内 容
12月 4日(月)	午前10時	開会
12月 6日(水)	午前10時	一般質問
12月 7日(木)	午前10時	常任委員会
12月 8日(金)	午前10時	採決・閉会

住所、氏名、年齢を記入していただければ、どなたでも本会議を傍聴することができます。お気軽にお越し下さい。





長内良蔵

特定業者に偏る指名競争入札の問題点について

問 工事費が大きい下水道工事等の落札率をみると、令和4年度は90%台が全体の6割以上で平均が92%であるのに対し、葛西町長が入札に関わった6月からの落札率はほとんどが96%で高い割合が続いているが、原因はなにか。

答 (葛西町長) 議員は、町長が替わったからと意味を持たせようとしているが、そのことが原因であるとは思っていない。今年度、入札に限らず、委託料や物品の購入など、多くのもので物価高騰や人件費高騰の影響が出ているので、高くなっている。

問 落札率が高いことは工事費の増額につながり、町民の負担が大きくなる。この状態をどのように受け

とめているのか。

答 (葛西町長) 当町に限らず日本全体の問題であり、現状の経済状況では致し方ない部分があると受け止めている。

問 令和5年度の6月と7月は町内2業者を指名から外し4業者で実施。8月は町内3業者を外し、町外3業者を加えて実施。「地元業者ができる工事であればお願いしたい。」と答弁していたが、やっていることは逆で、その理由を伺う。

また、建設業者等指名規則には「選定が特定の業者に偏らないようにしなければならぬ」と明記されているが、6月からの各工事のほとんど同じ3業者が落札を繰り返す、疑いたくないような状況が続いている。町長の見解を伺う。

答 (葛西町長) 6月議会で「問題なく入札・契約・工事ができるのであれば町内業者にお願いたしたいと考えている。」と述べたが、加えて、「必要だと考えるものに関しては範囲を広げる必要がある。」と述べている。

また、指名業者について、

議員は規則の文面を抜粋しているが、その前に「当該会計年度における指名及び受注の状況を勘案し」という文言がついている。

今年度の工事の受注状況を調べたが、特に特定の業者に偏った形にはなっていないので、指名については特段の問題はないと認識している。

問 町長は町民に誤解を与えるような入札行為を繰り返す、町民からは入札のやり方に疑問の声がでているが、町長の見解を伺う。

また、6月定例会で「町民目線においてもこれまでとは違う、不正がないと信じてもらえるような入札を行っていききたい。」と公言しているが、今のやり方が町民目線になっていると思うのか見解を伺う。

答 (葛西町長) これまではA級の設定金額の工事であれば町内A級に載っている同一の6業者を毎回、変動させることなく指名していた。毎回同じ業者を指名するというのは、業者もどうせ指名されるだろうと推測できてしまう。悪く捉えると、業者間

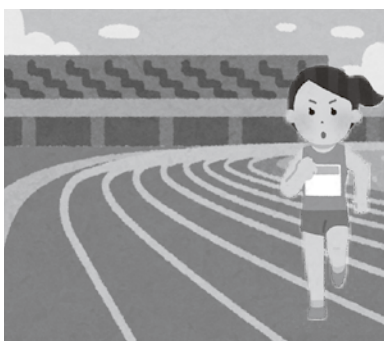
で業者間談合が容易にできてしまうという条件がそろってしまふ。したがって、私の考えは適正な競争を行うためにはある程度の変化が必要であるのではないかと考えている。業者側も常に緊張感を持ち、より競争が活発化するような入札にしたいという思いの下で指名を行っていている。これまでの違いを理解してもらおうと不正がない入札を行うという私の考えが少しでも町民の方々へ伝わればと思っている。

福士加代子さんの「名誉町民」称号の贈呈について

問 今日までの輝かしいご功績をたたえて、町として「名誉町民」の称号を贈呈すべきと考えますが、町長の見解を伺う。

答 (葛西町長) 日本女子陸上選手で初めてオリンピック4大会連続出場し、また世界選手権は5大会出場するなど、日本女子長距離界の第一人者としての活躍をされました。現在はワコール女子陸上競技部のアドバイザーとして

指導を行うほか、自身が企画運営に携わったがんイベントの開催など、走ることの楽しさを伝える活動を行い、活躍している。さらに、りんごの里いたやなぎ応援大使として町民の魅力を全国に発信していただいている。「名誉町民」の称号贈呈については、しかるべき時期を見て贈呈したいと考えている。





松森俊逸

りんごワーク研究所について

問 令和4年度決算は100万円程度の黒字になると複数回、議会報告されてきたが結果は大幅な赤字であった。このような虚偽報告は悪質であるが見解を伺う。

答 (葛西町長) 100万円強程度と報告したが、本来であれば、長期借入金返済額の1,500万円を加味した当期収支差額1,400万円程度のマイナスと報告するべきであった。

問 虚偽報告を繰り返した、まさに背信行為である。これを何ら対処せずに、このまま看過するののか。

答 (葛西町長) あの報告は私も間違っていると思う。嘘をついたというのは間違いない。

問 財政援助制限法第5条により、地方公共団体は債務保証を行うことを禁止しているが、町が債務負担行為を設定している。この設定できる根拠は。

答 (山口企画財政課長) 地方自治法第214条の規定で定めている。

問 非常にグレーな債務負担行為を今行っている。りんごジュース工場、加工品工場に特化するなど、抜本的な改革をしない限り、同じことを繰り返すと思うが。

答 (葛西町長) やはり抜本的な改革は必要にならうかと感じている。

問 議会に対して虚偽報告を続けた事務局長に対しては、口頭や文書で処分しなければ駄目である。

答 (葛西町長) 事務局長に対する処分との話だが、これは事務局長個人の答弁ではない。前の理事長、副理事長で話し、議会に報告をしたということである。

問 現行の経営改善計画は適正に機能すると思うか。

答 (葛西町長) 令和4年度は、計画値を達成できずマイナス決算となったので、計画の施策には機能しなかった部分もあると感じている。

小学校統合問題について

問 統合に向けたスケジュールを示せ。

答 (葛西町長) 8月24日から住民説明会を行い、板柳北小学校、板柳南小学校のいずれかふさわしいほうを選定し、既存施設の利活用であっても可能な限り子ども達が快適に学べる環境づくりを目指していききたいと説明した。

問 既存施設利用による統合に反対する教育委員はいるのか。

答 (葛西町長) 反対する教育委員がいるという認識はない。

問 4校のエアコンの設置には大賛成だが、仮に統合小学校が令和6年着手して7年に運用開始できると、二重投資になる可能性がある。十分留意してもらいたいと思う。

青柳館浴場改修工事について

問 設計業務委託料の積算根拠を示せ。

答 (葛西町長) 青森県建築工事関連業務委託料積算基準の運用に基づき積算している。

防災費について

問 消耗品費および役場庁舎飛散防止フィルム貼付業務委託料の積算根拠を示せ。

答 (葛西町長) フィルム約450枚の貼付を予定し、311万2,000円を予算計上している。

問 ガラスの飛散防止フィルムの事業は防災計画に基づいて優先度を決めて予算化したものだと思うが、基になる防災計画を示してほしい。

答 (大井総務課長) 防災計画上はのせていない。

問 庁舎の耐震診断で梁・柱・壁等に被害が出るのは震度いくつか。

いるが、計画性もなければ、単なる思いつきの事業と私は考える。それよりエアコンをつける方がよっぽど職員的环境福祉に役立つと思うが。

答 (葛西町長) ご理解いただきたい。飛散防止を一番先にやるべきは病院である。入院患者や動けない人もいる。やはり順番が違うと思う。

裝飾街路灯整備について

問 東雲町・栄町・大町・仲町の裝飾街路灯整備のスケジュールを示せ。

答 (葛西町長) 9月中には各町内会と個別に面談し、要望・意見を伺いたいと考えている。

問 パワハラおよびセクハラ問題について

問 役場、中央病院、その他町関係組織においてパワハラ、セクハラ等の調査体制はいかがなっているのか。

答 (葛西町長) 総務課人事係に苦情相談処理窓口を設置している。



楠美 仁康

町ならではの地元産品等
に対する支援策について

問 販路拡大に関する支援策について伺う。

答 (葛西町長) 現在板柳りんごの販路開拓を図るために板柳町りんご支会連が開催している即売会の経費について補助している。

また、物産展・展示会・商談会等に出展し、町特産物の販路開拓に取り組む事業者に対して特産物販路拡大等支援事業補助金を支出している。近年はいたや毛豆研究会が伊勢丹デパート新宿本店で試食販売を開催する際に活用されている。

さらに、ふるさと納税の返礼品に町内産のりんごを加えている。

問 特産物販路拡大等支援事業補助金の交付対象者として、農業の個人事業者として、

主は対象外になっているのか。

答 (小枝産業振興課長) 農業団体として、農業者が組織する団体、代表者の定めがあつて、かつ組織及び運営について規約の定めがある団体に対して補助をしているのが現状である。

問 板柳で農業を始めて数年という若者が多くいる。近い将来法人格を所有したいという若者もいる。ぜひ対象にしていただければと思うが。

答 (葛西町長) 新規就農などで来た場合、これも対象に助成するなど、きちんと進めていかなければならないと思う。特にリターンして農業の跡継ぎをやるとかそういう場合については、全面的に協力していかなければならないと考える。

板柳町は米とりんごのまちであるので、そういう部分については一生懸命支援していきたいと考えている。

問 要綱には交付対象事業として町長が別に定める物産展等に出展する事業が補助対象事業となっている。そこで、オンライン上で販売するためのホームページ作成構築費用、またモール型サイトの初期登録費用など、店頭販売以外にも間口を広げるために、オンライン上の販売も対象にしていたらいいと思うが。

答 (葛西町長) 確かに一理あると感じる。調査・研究して改めてお答えしたい。

問 高付加価値化及び価格競争力に関する支援策について伺う。

答 (葛西町長) 町商工会が事務局になり、板柳の太鼓判と称した地域ブランド商品の認定を行っている。

問 価格競争の面で、将来、公共施設跡地に倉庫的な役割を設け、板柳町と該当者が契約して、そこから発送するというものになると、物流コストの単価を引き下げることが可能だと思ふ。配送業者も同じ場所と同じ時間帯に行くこととなり、時間の軽減も図られると思う。

この質問をした最大のポイントとは近隣の町に比べて板柳町の平均所得が低く、昨今の物価高騰による経費負担の増により町民の所得

低下が懸念されるからである。板柳町が独自の政策を行い、この国難とも思える状況を乗り切つて、町民の安定した生活が保証されるようになればと思う。

町職員の職場環境づくり
について

問 葛西町長体制下のもと、町職員の士気の変化について伺う。

答 (葛西町長) 基本となるのが挨拶の励行である。私自身も各課を回り挨拶を続けている。町民からは役場の中が明るくなったとの声をいただいている。

問 町職員に対し、処遇改善等の必要性の有無について伺う。

答 (葛西町長) 適正な採用計画を基に業務改善や時間外手当の適正な支給などを検討している。また、会計年度任用職員についても現在は期末手当のみの支給だが、令和6年度より勤勉手当の支給も行うよう通達があつたので、任用職員に対しても処遇改善が図られるものと思つて



いる。**問** 挨拶については人間関係の入口は挨拶から始まると言つても過言ではないと思う。挨拶はされるものでなく、するものであるという言葉がある。人は多少なりとも承認欲求があつて、例えば町長がおはようと言つと、町長に認められているのだと感じ、それが士気高揚につながっていくと思う。ぜひ、継続していただければと思う。



旧板柳高校跡地利用計画の進捗状況

問 現在行われている、旧板柳高校跡地利用計画の進捗状況と、今後のスケジュール等について伺う。

答 (葛西町長) 板柳高校利活用検討委員会の報告を受けてから町の財産になるまでには、県の審議期間にもよるが、最低でも6か月程度は必要になると予想される。

問 現在利用計画がまだ確定していないが、先に体育館やグラウンドを練習場として使わせてもらうような交渉を県とは可能か。

答 (大井総務課長) 県と交渉したが、正式に譲渡が決まっていないので、できないとの回答であった。

問 板柳高校の跡地をいろんなスポーツ施設にしたいのであれば、利用で

きると思うが。

答 (葛西町長) 令和5年度末には譲渡していただけるように進めていきたいと思っている。

町が行っている健康診断

問 他の自治体で行っている健康診断には、胃内視鏡検査を取り入れている所がある。当町でも可能か。

答 (葛西町長) 当町の胃がん検診は、集団検診において青森県総合健康センターに委託し、胃エックス線検査車で実施している。健診センターでは集団検診での胃内視鏡検査を実施していないため、現状はできない状況である。

問 近年の受診率を伺う。

答 (菅田健康推進課長) 胃がん検診の受診率は、令和元年度は男女総数で18.9%、令和2年度18.4%、令和3年度17.3%である。

問 受診率は町としてどのように捉えているか。

答 (菅田健康推進課長) 町の定めている目標の受診率は35%であるので受診率アップに努めなければ

ならないと考える。

問 現状はできない胃内視鏡検査だが、当町でも可能にするためにはどのような方法があるのか。

答 (菅田健康推進課長) 国の基準に基づいて実施できる医療機関の協力があれば可能である。

問 現実的に当町でできるのか、できないのかを関係機関への調査を行ってみてはいかがか。

答 (葛西町長) 町としてどうしたらできるのか調査研究し、前向きに進めていきたい。

熱中症対策について

問 各施設のエアコン完備が町として行う熱中症対策だと思ふ。見解を伺う。

答 (葛西町長) 公共施設の構造上の問題や経費面を調査しながら、計画的に冷房環境を整えていく。来年度は各小学校へエアコンの設置を考えている。その後、役場庁舎への設置も検討したい。

問 来年度、既存小学校にエアコンを整備することを確約したが、財源はど

のように考えているのか。

答 (田中事務課長) 財源等は町に負担を考えていただきたいと考えている。エアコン設置に係る国の補助金では来年度の夏前にエアコンを設置することが困難となる。また、将来廃校になる見込みの小学校にエアコンを設置することは補助金の返還等も予想されるので国の補助金を活用することは適さないと考えている。

新町の今後の取り組み

問 高齢者等の移動手段確保への取り組みについて、何らか具体的な検討は行っていくのか伺う。

答 (葛西町長) 町内の法人の事業で高齢者の買物のための移動支援事業がある。また、町の社会福祉協議会でも、これから一部の地域をモデルにして高齢者の買物などの移動支援に動き出す計画があると伺っている。町として当該事業の充実に向け実施主体への支援を行うなど後押しして、町民生活の利便性向上を図ってまいりたい

と考えている。

問 除雪方法についての見解を伺う。

答 (葛西町長) 本年度は除雪運転手の増員を予定している。これまで以上の効率のよい安定した除雪体制を確保したい。高齢者等の除雪対策については町内会などの除雪活動に対し町除雪サポートモデル事業の活用において助成金を交付しているが、実質活用されている町内会は半数程度である。さらに広く活用していただけるよう対象経費の見直しや助成金の上限額の引上げなども含め検討したいと考えている。

問 国内に向けて、友好都市提携を目指す事について、見解を伺う。

答 (葛西町長) アメリカのヤキマ市と昭和47年2月3日に姉妹都市を、中国の北京市昌平区と平成5年6月23日に友好協定を締結している。

国内における友好都市に關しては候補地を含め調査研究していく。

任 査 委員 会 常 審

総務産業厚生 常任委員会

■役場庁舎飛散防止フィルム貼付業務委託料
 ◎他の市町村で実施しているところはあるのか。
 ①確認はしていないが、近隣の町村は新しいところが多いので、編み目の入ったガラスや二重窓になっているところがある。

■避難所への防災備品
 ◎避難所となる場所に毛布など、備え付けてはいかか。
 ①防災関係の消耗品は旧消防署と役場に備蓄している。毛布や今後購入するものを学校に保管できないか調整中である。

■災害備品・備蓄食
 ◎発電機の燃料はそのままにしておくと腐食してしまうので貸し出す事は良いことだと思っが。
 ①防災に限らず、町民が必要な場合は貸出可能である。

◎昨年の災害時は御飯や水など、コンビニなどが開いていたので良かったが、今後はどのように考えているのか。
 ①昨年災害後も予算の範囲内で備蓄食を購入している。さらに今後の災害に備え、町内のスーパーなどと協定を結び、食料等について考えていかなければならないと思う。

■板柳町の基金
 ◎当町は基金が41億円あり、基金が多くあれば経営安定かもしれないが、ある程度いろんなことに使ってはどうか。
 ①町民のために使うべき時は使っていかなければいけないと思っっている。

■スマート農業
 ◎スマート農業導入推進事業費補助金について何う。
 ①スマート農業の導入推進に係る農業機械の購入費を補助するものである。現在設置されたアンテナ基地局との通信料は無料となる予定である。

◎基地局はいつから稼働するのか。
 ①県から町に譲与される手続中であり、間もなくである。

◎県から町に譲与される手続中であり、間もなくである。



福祉建設文教 常任委員会

■道路補修

◎道路に穴が多く見られる高増・菖子の道路は農家の方が利用する所でもあるので、考えていただきたい。
 ①状況が悪いことは把握している。工事車両も通っているため、すぐに傷んでしまう状況である。直営工事で穴埋めを行っているが、あまり効果が見られない状況である。今後検討していきたい。

■岩木川河道掘削
 ◎現在掘削作業が進んでいる。岩木川の堤防に沿って土を盛っているが、仮置きしているのか。
 ①目的は、越水などの事象がかなり危機感迫ったとき、新たにストックした土砂を使って土のうを造るための備蓄材である。結果的に堤防を太らせ、堤防の安全も増すことになる。

◎現在掘削作業が進んでいる。岩木川の堤防に沿って土を盛っているが、仮置きしているのか。
 ①目的は、越水などの事象がかなり危機感迫ったとき、新たにストックした土砂を使って土のうを造るための備蓄材である。結果的に堤防を太らせ、堤防の安全も増すことになる。

陳情等の審議結果

◆陳情

インボイス制度の実施延期を求める意見書を政府に送付することを求める陳情書

採 択

国に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める陳情書

採 択

保育所統廃合改築事業推進に係る財政支援に関する陳情書

採 択

いたやなぎ町議会だより 「夢追人」を募集しています!

内 容：表紙写真の掲載
町内在住、男女年齢・個人団体問わず。
大人の方でも大歓迎!!

募集期間：随時募集

選考方法：議会広報特別委員会
で審査を行い、選出します。

問 合 せ：板柳町議会事務局(73-2111)

決算特別委員会 総括質疑

令和4年度の各会計決算を審議するため、議員全員で構成する決算特別委員会（委員長：三戸玲子議員／副委員長：楠美仁康議員）を設置し、9月6日・7日の2日間にわたり詳細に審議しました。数多くの質疑がありましたが、その一部を紹介します。

※令和4年度各会計決算の詳細については、広報いたやなぎ10月号に掲載されています。



こちらのQRコードから
ご覧いただけます。→

◎町営墓地

■質問 鈴木清孝委員

全体の区画はどのぐらいで、残りはどのぐらいなのか。

▲長尾町民生活課長

現在、386区画のうち、使用されているのが366区画となっている。

■質問 鈴木清孝委員

残り区画も少なくなってきた。これは将来的に広げるのか。または、近年増えている合同葬のようなものを整備していく必要があるのか。

▲葛西町長

私自身は拡張することはない。今のところ考えていない。見通しなど勘案しながら検討していく。合同葬という形は、板柳には由緒あるお寺が複数あるので、その辺は慎重に検討しながら進めてまいりたい。

◎アメリカシロヒトリ対策

■質問 長内良蔵委員

アメリカシロヒトリは繁殖力があり、すっかり農薬散布等で駆除しないと町の桜や柿などがなくなってしまうと危惧している。なかにか研究していることなどあればお知らせいただきたい。

▲葛西地域整備課長

アップルモールを含め、公園関係の樹木の管理については、5月の末から9月の上旬ぐらいまでに年2、3回、アメリカシロヒトリ等の対策で薬剤散布を行っている。しかし、岩木川河川公園の桜に関しては、そういった対策がされていないので、これから専門業者等に確認して、対策をしていきたいと思う。

■質問 長内良蔵委員

町を挙げて、町の桜など防除を考えていただきたい。

▲葛西町長

要望があれば前向きに検討し、噴霧器なども町にあるので、貸出しするなど、薬の助成するなども考えていかなければならないとは思っている。

◎町国民健康保険医療費と保険税

■質問 佐藤文俊委員

令和4年度の決算として県内の各数値が発表され、当町の国民健康保険で使った1人当たりの医療費が県内40市町村中、第40位であった。町民の健康が進んだのではないかと非常に喜ばしいことだと思ふ。担当課ではどう評価しているのか。

▲芦田健康推進課長

特定健診などの成果が表れたものと考えている。

■質問 佐藤文俊委員

その一方で、1人あたりの保険税負担が40市町村中、第3位であった。使った医療費は県内最低にも関わらず、第3位の税負担。どのように考えているか。

▲芦田健康推進課長

今年度、国保税の算定を4方式から、資産割を廃止して3方式にしたので保険税については平均ぐらいになるのではないかと見込んでいる。

◎防災訓練

■質問 工藤貢委員

今年度は防災訓練がなかったが、来年度は防災訓練をやる予定でいるのか。

▲大井総務課長

来年度の事業に関しては今後、様々これから議論して決めなくてはならない。今後、理事者と協議しながら進めていきたい。

■質問 工藤貢委員

防災訓練をするのであれば、小中学校を絡んだ防災訓練をぜひやってほしいと思うが。

▲葛西町長

災害はいつ来るかわからないので、これからは毎年でも防災訓練をやっていくなければならないと思う。さらに学校の先生・生徒・児童がどう動くかをすればいいのか、そういうことも含めてこれから計画を立て、進めていきたい。



◎予備費

■質問 鈴木清孝委員

577万6,000円が計上されているが、各項目について何う。

▲山口企画財政課長

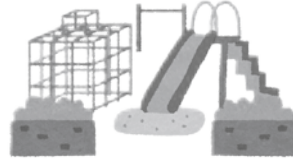
①油流出に係る消耗品が200万円、②冬期間、急遽排雪作業にトラックを借り上げたため、54万2,000円、③冬期間、融雪溝のポンプ1基が壊れ、仮設ポンプを設置したため、158万4,000円、④災害復旧に係る委託料165万円である。

◎いたや公園管理委託料

■質問 葛西幸男委員
いたや公園管理委託料20万円について、ここ7、8年変わっていない。除草剤なども高くなっているのもう少し上げてほしいが。

▲葛西町長

確かに物価高であり、全てそういうものが値上がりしているの、いい方向に進めてまいりたい。



◎町内各路線穴埋工事

■質問 楠美仁康副委員長

352万円ということで、前年度の決算額が149万6,000円と跳ね上がっている。これは件数が増えたのか、それとも大規模な作業が必要だったのか。

▲葛西地域整備課長

路面性状調査等において年間数路線の整備を計画的に実施している。また、パトロールにおいて状態の悪い箇所部分的な舗装補修及び直営による穴埋め工事

において道路の維持の強化に努めている。今後もそういった対応を継続していきたいと考えている。

◎空き家対策

■質問 佐藤洋治委員

町の将来像を考えた時、空き家対策は避けては通れない都市計画の1つだと思う。県内でも空き家対策をしつかりしている市町村がある。当町はいかがか。

▲長内副町長

持ち主が特定できる物件であれば、連絡を取り、対応している。問題になるのは、持ち主不在であることや持ち主はいるが、どこに住んでいるか分からないなどのケースである。この場合はなかなか難しい。これからのいろいろな意見や知恵を出し合いながら、解決に向けて一歩でも進めるように取り組んでいきたい。

▲葛西町長

遅れれば遅れるほど軒数が増えると思うので、そういうことをきちんと肝に銘じて進めてまいりたい。

◎地方税共同機構負担金

■質問 鈴木清孝委員

▲三浦税務会計課長

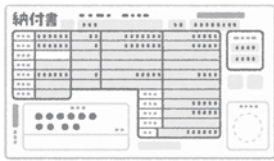
地方税共同機構には、各自治体と国が負担金を支払っている。そして地方税をe-Taxで支払いができるよう、サポートしている。

■質問 鈴木清孝委員

将来的にはすべてe-Taxとなっていくのか。

▲三浦税務会計課長

令和5年度から軽自動車税と固定資産税にQRコードをつけて配布させていた。現在は地方税共同機構で管理できるのが、軽自動車税と固定資産税のみである。令和6年度から普通徴収と国保税もできるようにしていく動きがある。



議会の動き (7月~9月)

開催日	会議等名	開催日	会議等名
7月	7日 議会広報特別委員会	8月	25日 議会運営委員会
	10日 町例月出納検査 (監査)		28日 福祉建設文教常任委員会 管内小中学校訪問
	12日 津軽圏域市町村議会議長会懇談会総会		31日 町村議会広報研修会 (県内)
	14日 弘前地区環境整備事務組合臨時会	9月	1日 本会議 (開会、定例会日程・町長の提案理由等)
	〃 津軽広域連合議会臨時会		〃 議員全員協議会
	〃 弘前地区消防事務組合議会臨時会		4日 本会議 (一般質問・7名)
	19日 県下町村議会議員研修会		5日 総務産業厚生常任委員会
	25日 議会広報特別委員会		〃 福祉建設文教常任委員会
〃 議会運営委員会	6日 決算特別委員会		
1日 議会広報特別委員会	7日 決算特別委員会		
8月	〃 西北津軽郡町議会議長会第1回協議会	8日 本会議 (委員長報告、採決、閉会)	
	3日 議員全員協議会	〃 旧県立板柳高等学校現地視察	
	17日 例月出納検査 (監査)	11日 例月出納検査 (監査)	
	21日 議案説明会	19日 議員視察研修第1班 (~22日)	
	22日 西北五広域福祉事務組合定例会	27日 町村議会広報研修会 (全国)	

一目で分かる審議結果

○審議された議案

◆第15回定例会（令和5年9月）

議案番号	議案	結果
同意第17号	板柳町教育委員会委員の任命（久米田貞子氏）	同意
議案第4号	人権擁護委員の推薦（樋口貴俊氏）	可決
議案第5号	令和5年度板柳町一般会計補正予算（第3号）	修正可決※
議案第6号	令和5年度板柳町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第7号	令和5年度板柳町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第8号	令和5年度板柳町介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第9号	令和5年度板柳町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第10号	令和5年度板柳町水道事業会計補正予算（第1号）	可決
認定第1~8号	令和4年度各会計決算の認定	認定
報告第4号	令和4年度板柳町農業集落排水事業特別会計継続費精算報告書について	報告のみ
報告第5号	令和4年度板柳町健全化判断比率の報告について	報告のみ
報告第6号	令和4年度板柳町資金不足比率の報告について	報告のみ
報告第7号	私債権の放棄に関する報告について	報告のみ
報告第8号	一般財団法人板柳町産業振興公社りんごワーク研究所経営状況の報告について	報告のみ
議員発議第18号	インボイス制度の実施延期を求める意見書について	可決
議員発議第19号	適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める意見書について	可決
議員発議第20号	板柳町議会ハラスメント防止条例の制定について	可決

※「修正可決」・・・議案第5号については議員による修正動議（修正案）が可決されたため。

○賛否の分かれた議案

◆第15回定例会（令和5年9月）

議案	氏名											結果
	楠美仁康	工藤貢	濱名康治	佐藤文俊	鈴木清孝	松森俊逸	今浩一	葛西幸男	長内良蔵	成田肇	三戸玲子	
議案第5号 令和5年度板柳町一般会計補正予算（第3号）に対する修正動議	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	賛成9人 可決

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 ※議長は採決に加わらない。

議案第5号 令和5年度板柳町一般会計補正予算（第3号）に対する修正動議の提案理由

発議者：松森俊逸議員

令和5年度板柳町一般会計補正予算（第3号）中の消防費である役場庁舎窓ガラス飛散防止フィルム貼付委託料311万2,000円について、町公共施設防災計画に基づく周到な調査の下、優先度等を検討して決めたものなのか、町側に対して、議案説明時及び一般質問、さらには直前の質疑でただしてまいりました。しかし、役場職員の安全のために必要である、ひいては町民サービスの維持に必要であるということでありました。しかし、計画性や優先度を検討した説得力ある説明はなされておられません。

先ほども申し上げましたが、本予算案提案の趣旨に関しては十分理解しているものであります。

しかし、あまりにも唐突な提案であり、本事業の設置優先度を仮に検討したならば、間違いなく小中学校及び板柳中央病院への設置が優先されるものと推察することは、全くもって容易なことであるというふうに考えます。また、気象庁震度階級関連解説表による鉄筋コンクリート造建築物において、窓ガラス割れによる飛散が普通に生じる検証結果を地震震度階級を6強から7としており、この6強から7の地震が発生する事態になれば、ガラス割れ飛散による直接的被害よりも、部分的躯体被害による転倒や各種固体物等の飛散による衝突被害のほうがよほど大きくなると推察でき、窓ガラス飛散防止フィルム貼付の有効化は、さほど期待できないものと考えます。

理事者に対しては、本事業の投資効果の再度の合理的考察を行うことを強く促し、本修正予算案を提出いたします。

○審議された議案

◆第12回臨時会（令和5年10月）

議案番号	議案	結果
議案第11号	道路維持作業車購入契約について	可決
議案第12号	令和5年度板柳町一般会計補正予算（第4号）	可決

※定例会及び臨時会については、
広報いたやなぎにも掲載されています。



議員発議第20号

板柳町議会ハラスメント防止条例

提出者：三戸玲子議員、成田肇議員、楠美仁康議員

議員発議第20号 板柳町議会ハラスメント防止条例提案理由

発議者：楠美仁康議員

本条例は、議員による議員の地位を利用した職員に対するハラスメント及び議会内における議員間のハラスメントを防止するための措置を講じ、全ての職員及び議員が個人としての尊厳を尊重され、良好な職務環境を確保することで、町政の効率的運用に寄与し、もって信頼される町議会の実現に資することを目的とするものです。

板柳町議会ハラスメント防止条例（抜粋）

（目的）

第一条 この条例は、議員による議員の地位を利用した、町職員（以下「職員」という。）に対するハラスメント及び議会内における議員間のハラスメントを防止するための措置を講じ、全ての職員及び議員が個人としての尊厳を尊重され、良好な職務環境を確保することで町政の効率的運用に寄与し、もって信頼される議会の実現に資することを目的とする。

（研修等）

第四条 議長は、ハラスメントの防止を図るため、議員に対し必要な研修等を実施しなければならない。

（公表等）

第六条 議長は、前条の規定により議員によるハラスメントがあったと確認したとき、又は町長等から議員によるハラスメントがあった事実が報告されたときは、議会運営委員会の意見を聴き、当該ハラスメントを行った議員の氏名の公表その他必要な措置を講じなければならない。

板柳町議会議員による板柳町職員に対するハラスメント事案について

今回の議員によるハラスメント行為により、複数の板柳町職員に多大な苦痛を与えたことに対し、深くお詫びいたします。

また、町民の厳粛な負託を受けた町民全体の代表者である町議会議員が、信頼を大きく損なうこととなり、町民の皆様にも多大なご心配をかけ、お騒がせしたことに対し、深くお詫びいたします。

ハラスメント行為は、働く人の尊厳を不当に傷つける社会的にも絶対に許されない行為であり、今般の事案に対し当町議会としても厳正に対処するとともに、今後の再発防止策として、議員を対象とした研修会を実施し、今一度議員としての責任と自覚を再認識し、信頼回復に努めて参ります。

板柳町議会議長 佐藤 洋治

視察・研修レポート

青森県町村議会議長会

町村議会広報研修会



令和5年8月31日（木）青森県労働福祉会館
参加者：今浩一議員、葛西幸男議員

全国町村議会議長会

町村議会広報研修会



令和5年9月27日（水）日経ホール（東京都）
参加者：今浩一議員、葛西幸男議員、
松森俊逸議員、濱名康治議員

応援！ 県民体育大会 県民駅伝大会



県民体育大会
7月29日（土）

県民駅伝大会
9月3日（日）



板柳町議会 YouTube チャンネル公開中！！

板柳町議会が、
いつでも、どこでも、空き時間
でご覧いただけます！

◎アクセス方法

- 1 YouTubeで「板柳町議会」と検索！
- 2 QRコードからもアクセスできます！



編集後記

道路の路面状態、小中学生の通学の様子、病院への乗車人数、長ネギや卵の価格、岩木山など、あらゆる変化を捉えることを心掛け町政に活かそうと考えているのだが、つい先日、近所の方に前かがみに歩いているけれど腰でも痛めたのかと聞かれた。どこも痛めていないのだが、まさに加齢のなせることかと、自身の変化に気づかぬ節穴の我が目を自嘲した。それ以来、意識して背を伸ばし歩くように心がけている。これからも自他共の変化に目配せしながら身の丈で励もうと思っている今日この頃である。

（委員 松森 俊逸）

【発行責任者】

議長 佐藤 洋治

※第40号発行予定は2月9日頃です。議会だよりへのご意見・ご感想をお聞かせください。